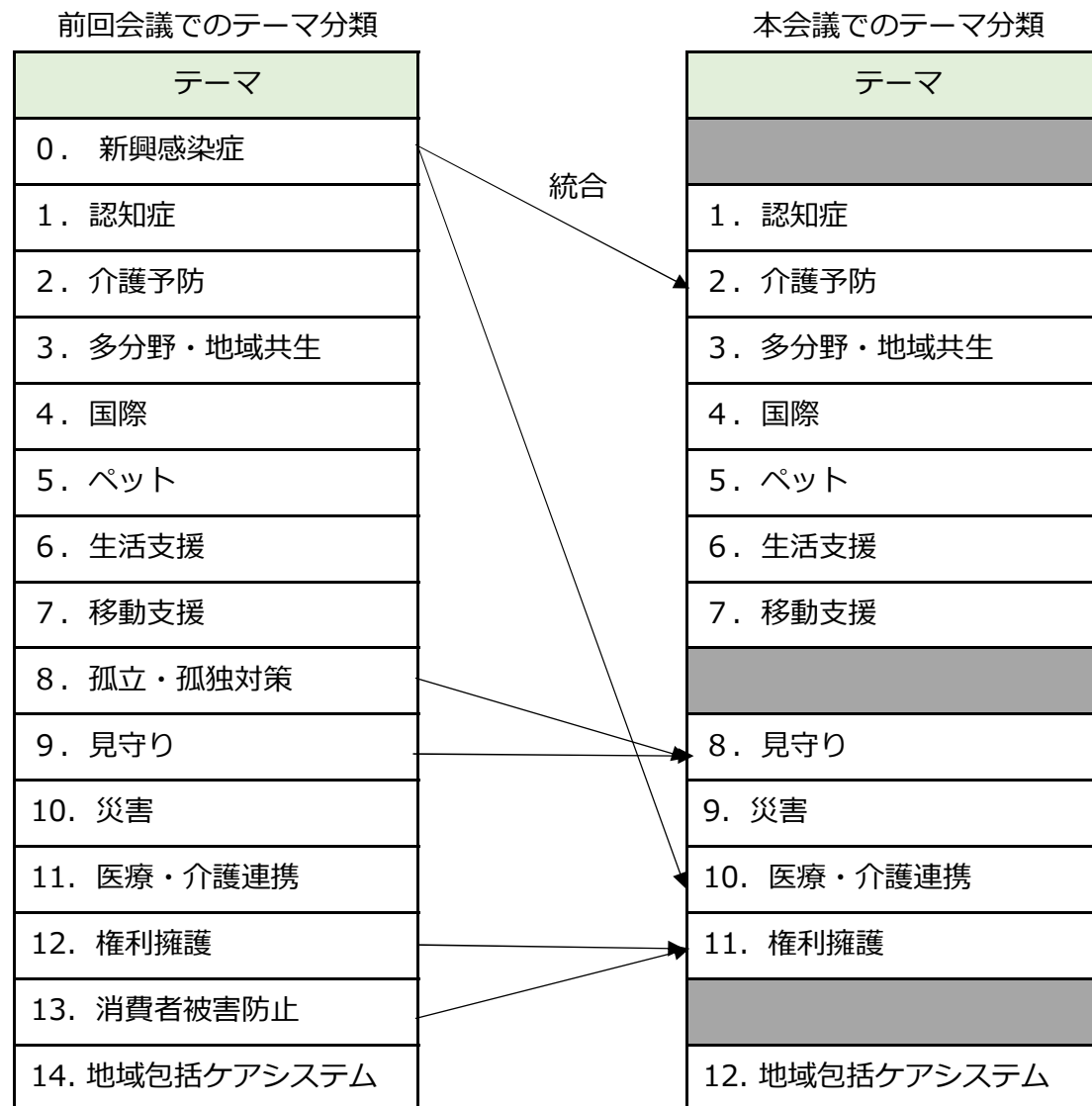


地域レベルの会議における主な議論のまとめ (地域の課題および市の課題)

- (1)地域で起きている問題と課題は、1～12のテーマに分類し、地域個別ケア会議と地域包括ケア推進会議で話し合われた内容をそれぞれ記載した。
- (2)地域での対応方針は、地域包括ケア推進会議で挙げられたものを内容に応じて、「実態把握」、「普及啓発」、「連携強化」、「取組検討」の4つに分けて記載した。
- (3)市レベルの課題は地域個別ケア会議と地域包括ケア推進会議で挙げられたものをそれぞれ記載した。

松戸市地域ケア会議におけるテーマ

テーマ分類の一部について統合を行った。



テーマ	(1)地域で起きている問題と課題		(2)推進会議で話し合われた地域での対応方針	(3)市レベルの課題		推進会議で話し合われた地区
	個別ケア会議 自立支援型個別ケア会議	推進会議		個別ケア会議 自立支援型個別ケア会議	推進会議	
1. 認知症	<p>●認知症の普及啓発</p> <p>○認知症の理解が十分でない介護者がいる。(個12)</p> <p>○地域住民の認知症に対する理解が低い。(個39,51,57,自8)</p> <p>●地域環境</p> <p>○認知症高齢者が保護される事例が急増。(個7)</p> <p>○認知症独居。(個19)</p> <p>○認知症の高齢者増加。(個52,55,59)</p> <p>●見守り・支援体制の不足</p> <p>○徘徊や迷子の高齢者を発見した時の対応を地域に周知する。(個26)</p> <p>○家族不在中に認知症の人を見守る仕組みがない。(個29,60,61)</p> <p>○認知症への理解・対応は充分だが、対応に終わりが見えない。(個40)</p> <p>○認知症や他疾患等を抱えている本人と、近隣住民との橋渡しを行う人材の育成。(個58)</p>	<p>○徘徊高齢者への見守りの必要性と発見した際の対応方法について</p> <p>○徘徊高齢者が遠方に行ってしまった際の対応方法について</p>	普及啓発	<p>○GPS助成制度の普及啓発。</p>	<p>○市民が徘徊高齢者を見つけたときの対応方法を周知する。</p> <p>○認知症に関する知識普及。</p> <p>○認知症や精神疾患の方が地域と一緒に生活しているという事への地域住民への啓発活動。</p>	<p>○市民が徘徊高齢者を見つけたときの対応方法を周知する。</p>
			連携強化	<p>○地域の行事参加を促して見守りする。</p> <p>○警察に送ってもらうなど公的機関との連携。</p> <p>○介護保険サービスを増やし、見守りや非常時の対応力を高める。</p> <p>○支援者間での顔の見える関係性作り。</p>	<p>○徘徊高齢者が増えていることへの対策・警察との連携</p> <p>○民間企業も含めた重層的な認知症高齢者の見守り体制作り。</p> <p>○認知症の方への見守り支援。</p>	<p>○見守りを行う地域資源に対する支援。</p> <p>○警察など公的機関との連携。</p> <p>○地域の行事参加を促して見守りする。</p> <p>○介護保険サービスを増やし、見守りや非常時の対応力を高める。</p>
			取組検討		<p>○GPSとお迎え有料サービスのマッチング。</p>	<p>○GPSとお迎え有料サービスのマッチング。</p> <p>○GPS助成制度利用により靴の中に小型GPSを入れる。</p>

テーマ	(1)地域で起きている問題と課題		(2)推進会議で話し合われた地域での対応方針	(3)市レベルの課題		推進会議で話し合われた地区
	個別ケア会議 自立支援型個別ケア会議	推進会議		個別ケア会議 自立支援型個別ケア会議	推進会議	
2.介護予防	<p>●セルフケアの促進</p> <p>○フレイル状態の高齢者の早期覚知。(個14)</p> <p>○元気な高齢者がセルフチェックできると良い(個43)</p> <p>●社会資源の不足</p> <p>○フレイル予防の自主グループの立ち上げ。(個45)</p> <p>○身体機能低下により外出困難。(自11)</p> <p>○コロナ禍で社会資源が休止(個14)</p> <p>○軽度者に対する介護保険以外の活動や参加の受け皿となる社会資源の不足(自5,15)</p> <p>○趣味に合う社会資源がない。(自16)</p> <p>○疾患に応じた患者会がない。(自17)</p>		取組検討	<p>○障害者・高齢者を雇用する企業等を支援する施策。</p> <p>○本人の趣味に合う社会資源がない。</p> <p>○疾患に応じた患者会が少ない。</p> <p>○フレイル予防を行う自主グループの数が少ない。</p>		

テーマ	(1)地域で起きている問題と課題		(2)推進会議で話し合われた地域での対応方針	(3)市レベルの課題		推進会議で話し合われた地区	
	個別ケア会議 自立支援型個別ケア会議	推進会議		個別ケア会議 自立支援型個別ケア会議	推進会議		
3.多分野・地域共生	<p>●障害や認知症等の理解</p> <p>○疾病が原因で近隣トラブルとなっている方への支援（個37）</p> <p>○難聴で対話に支障があり、受診を拒否する方への支援（自3）</p> <p>●多問題を抱える世帯への支援</p> <p>○キーパーソンが決断できず環境改善が進まない世帯への支援（個9,56）</p> <p>○親の介護が日常生活に影響をきたしている未成年への支援（個20）</p> <p>○複数人の介護を行う家族への支援（個36,46,59）</p> <p>○疾病を抱えながら高齢者を介護する世帯への支援（個49,58,62）</p>	<p>●疾患等抱えながら地域で暮らしつつけるための体制づくり</p> <p>○精神疾患を抱えながら地域で暮らすためにできる支援</p> <p>●多問題を抱える世帯への支援不足</p> <p>○ヤングケアラーに対する支援と理解</p> <p>○支援を要する若年層世帯の実態把握と、世帯を支える社会資源の把握</p>	実態把握	<p>○地域や各事業所が関わる中で早期発見、ヤングケアラーに対する配慮などを学びながら関り続ける。</p>	<p>○多問題を抱える世帯を早期に把握するための体制づくり</p> <p>○課題に応じた連携先の把握</p>	<p>○複合的な課題に対応する際の連携先の把握</p> <p>○職場復帰や就労を希望する方に向けたリハビリの場</p>	矢切 東部 五香松飛台 馬橋
			普及啓発	<p>○多世代が利用できる子ども食堂の周知</p>	<p>○ヤングケアラーに関する周知</p> <p>○障害や疾患への理解</p>	<p>○近隣住民と支援機関のつながり強化の重要性について啓発</p>	
			連携強化	<p>○年齢を問わず支援が必要な場合は早期に支援機関につなぎ、多様な課題について関わる人を増やす。</p> <p>○地域住民と支援機関の連携</p>	<p>○分野横断的な支援体制づくり</p> <p>○支援者同士の連携強化に向けた体制づくり</p>		
4.国際			実態把握				
5.ペット	<p>●ペット飼育についての情報が不足</p> <p>○ペット飼育についての知識不足。（個53）</p>		取組検討		<p>○お金のない方でも利用可能なペット飼育をしている方への支援。</p>		

テーマ	(1)地域で起きている問題と課題		(2)推進会議で話し合われた地域での対応方針	(3)市レベルの課題		推進会議で話し合われた地区
	個別ケア会議 自立支援型個別ケア会議	推進会議		個別ケア会議 自立支援型個別ケア会議	推進会議	
6.生活支援	<p>●在宅生活全般を支える</p> <p>○近隣に商店がない高齢者への買い物支援（個47）</p> <p>○家事のやり方や工夫などを教える様なインフォーマル支援グループの開発（自13）</p> <p>○突然独居、経済・生活が立ち行かなくなる高齢者への支援（個34,53）</p> <p>○検査しても異常はみつからないが食事が取れなくなった高齢者への支援（個41）</p> <p>○精神疾患により生活のしづらさを抱えている高齢者への支援（個18）</p> <p>●資源とゴミの分別</p> <p>○ごみを捨てられない高齢者への支援（個24）</p> <p>○ゴミを分別、まとめる作業が難しい障害者の支援（自4）</p> <p>●拒否がある方の生活を支える</p> <p>○強いこだわりを持つ高齢者への支援（個2,22,25）</p> <p>○配偶者の疾病理解が乏しくサービス調整につながらない（個12）</p> <p>○環境改善が必要だが介入拒否の高齢者への支援（個13,15）</p>		普及啓発	<p>○イラストで分かりやすいゴミ出し表を作成する。</p> <p>○ゴミ出しアプリを周知する。</p> <p>○集積所に残ったゴミは環境業務課に相談できることを周知する。</p>		六実六高台
			連携強化	<p>○民生委員や高支連の相談員からの情報を地域包括が共有し、地域の見守り組織と関係機関が連携して把握していく。</p>	<p>○栄養指導や専門的アドバイスを気軽に受けられる機関が必要。</p> <p>○病識の欠如や受診中断している高齢者宅に保健師が訪問。</p>	
			取組検討		<p>○ゴミ屋敷解消のための撤去費用助成。</p> <p>○住民主体で支える社会資源が小地域で必要。</p> <p>○認知症の高齢者には複雑なゴミ分別が困難。</p> <p>○高齢者が契約できる物件の確保。</p> <p>○外出しやすいまちづくり・バリアフリー化。</p>	

テーマ	(1)地域で起きている問題と課題		(2)推進会議で話し合われた地域での対応方針	(3)市レベルの課題		推進会議で話し合われた地区	
	個別ケア会議 自立支援型個別ケア会議	推進会議		個別ケア会議 自立支援型個別ケア会議	推進会議		
7.移動支援	<p>●社会資源の不足</p> <p>○介護保険サービスで通院移動支援はできないため、自費扱いになってしまう。(個30)</p> <p>○安価な通院移動支援を創出する必要がある。(個30)</p> <p>○外出に対するソフト面、ハード面の支援の充実。(個44)</p> <p>○移動支援を行うボランティアが不十分。(個44)</p> <p>○外出時の移動支援の充実や移動販売などの充実。(個47)</p> <p>●地域環境</p> <p>○坂道が多いため自転車での外出が困難。(個43)</p> <p>○エレベーターのない集合住宅の外出。(個48)</p>		普及啓発			常盤平団地 小金原	
			連携強化	<p>○市社協、NPO等の有償ボランティア。</p> <p>○地区社協ホームヘルプサービス。</p>			
			取組検討		<p>○自力での外出に対するソフト面・ハード面の支援体制が不足。</p> <p>○移動支援を行うボランティアが少ない。</p> <p>○移動販売などの充実。</p>		<p>○お互いに尊重しあいながらのまちづくりの周知活動。</p> <p>○対応できる事業所の拡充。</p>

テーマ	(1)地域で起きている問題と課題		(2)推進会議で話し合われた地域での対応方針	(3)市レベルの課題		推進会議で話し合われた地区	
	個別ケア会議 自立支援型個別ケア会議	推進会議		個別ケア会議 自立支援型個別ケア会議	推進会議		
8.見守り	<p>●状況変化による孤立化への対策</p> <p>○施設入所による役割変化や生きがいづくりへの支援（個43,自6）</p> <p>○配偶者を亡くし、気分的落ち込みのみられる方への支援（自10）</p> <p>○親の急逝がきっかけで支援が必要になった方への支援（個34）</p> <p>○疾病が原因でとじこもりがちになった方への支援（自15,17）</p> <p>●孤立しがちな方を支える地域づくり</p> <p>○独居高齢者の変化を早期発見するための見守り（個17,18,23,52）</p> <p>○独居高齢者が緊急時に連絡をとるための体制づくり（個27）</p> <p>○認知症高齢者の地域での見守り（個7,19,40）</p> <p>○周囲との交流を望まない方、世帯への支援（個4,13,25,35,42）</p> <p>○親の介護が日常生活に影響をきたしている未成年への支援（個20）</p>	<p>●社会との接点の持ち方</p> <p>○地域の特性に応じた孤立対策の検討</p> <p>○マンションでの孤独死の問題</p> <p>○支援機関の関わりを拒否する方への地域での見守り、声かけ</p> <p>○社会との接点がない世帯への支援</p> <p>●様々な属性・ニーズを持つ住民同志の理解</p> <p>○個々が抱える様々な暮らしにくさへの理解不足</p> <p>●消費者被害への対応</p> <p>○消費者被害未然防止のための普及、啓発。</p>	実態把握	<p>○商店、宅配業者等への実態調査</p> <p>○理事会等を活用した、マンション内世帯の把握</p> <p>○自発的に通える場所の把握</p> <p>○世代をこえて交流ができる場の把握（子ども食堂など）</p> <p>○つながりのない人の把握</p>	○近隣で実施する通いの場の把握	<p>○町会未加入者や転入者などの把握</p> <p>○見守りを行う地域資源や企業の把握</p>	<p>明第1</p> <p>明第2東</p> <p>東部</p> <p>常盤平</p> <p>五香松飛台</p> <p>小金原</p> <p>新松戸</p> <p>馬橋西</p>
			普及啓発	<p>○地域情報や相談先周知に向けた啓発物配布</p> <p>○住民の注目する場所に社会資源の案内を掲示</p> <p>○消費者被害防止に向けた知識普及</p> <p>○認知症等の疾患や障害に対する理解</p>		<p>○地域共生社会の周知啓発</p> <p>○相談窓口の周知</p> <p>○在宅向けサービスの普及啓発</p> <p>○消費者被害未然防止に向けた普及啓発</p>	
			連携強化	<p>○商店や宅配業者との見守り、ネットワークづくり</p> <p>○住民同士の安否確認体制</p>	<p>○見守りにて変化を察知した後の支援機関との連携体制</p> <p>○介護者が安心して外出できるための体制</p>	<p>○町会未加入者や転入者への支援体制構築</p> <p>○問題の複合化に対応できるための支援者同士のつながり強化</p>	
			取組検討	<p>○地域の担い手としての社会参加の場づくり</p>			

テーマ	(1)地域で起きている問題と課題		(2)推進会議で話し合われた地域での対応方針	(3)市レベルの課題		推進会議で話し合われた地区
	個別ケア会議 自立支援型個別ケア会議	推進会議		個別ケア会議 自立支援型個別ケア会議	推進会議	
9.災害		<p>○緊急時に備えるために把握しておいたほうが良い内容はどのようなものか。</p> <p>○連絡体制を確立させる方法としてどのようなものが考えられるか。</p> <p>○災害時に協力し合える世代を超えた関係づくり。</p>	普及啓発	○多世代食堂の参加しなかった層に対するアプローチを考えていく必要がある。		<p>○要支援者名簿の周知。</p>
			取組検討	<p>○マンション内で要支援者名簿を作成。任意で緊急連絡先や持病、かかりつけ医などの情報を記入できるようにする。</p> <p>○インターネットを活用し緊急時の連絡先などが回答しやすく、管理しやすいように工夫する。</p>		

テーマ	(1)地域で起きている問題と課題		(2)推進会議で話し合われた地域での対応方針	(3)市レベルの課題		推進会議で話し合われた地区
	個別ケア会議 自立支援型個別ケア会議	推進会議		個別ケア会議 自立支援型個別ケア会議	推進会議	
10.医療・介護連携	<p>●病識欠如、認知機能低下等により健康管理や支援調整が難しい世帯への対応</p> <p>○複数の医療機関にかかり、服薬管理ができない高齢者への対応（個2,8）</p> <p>○本人や家族の病識がなく健康管理ができない世帯・本人への支援（個12,21,25,50）</p> <p>●入退院支援</p> <p>○コロナ禍での面会・外出制限があるなか、退院時の適切なサービス調整について（個11,16,33）</p> <p>○コロナ陽性で搬送先が見つからない（個54）</p> <p>●受診が必要と思われる方の医療への接続</p> <p>○介入や受診を拒否する高齢者の医療への接続（個13,15,20,52,57）</p> <p>○精神症状が出ている独居高齢者の医療への接続（個51）</p> <p>○本人の自覚がない認知症疑いの高齢者の医療への接続（個59,自7）</p> <p>●医療機関での受入れが難しい場合の対応策</p> <p>○転倒を繰り返す高齢者への関わり（個14）</p> <p>○定期通院から訪問診療へ切り替える際の目安について（個3）</p>	<p>○コロナウィルス感染症の拡大による、面会・外出等の制限から、本人の現状について適切な情報共有が図りづらい。</p> <p>○直接本人と会えないことで、意思確認ができず、家族の受け入れや退院調整が進まない</p>	普及啓発	<p>○主治医機能の普及啓発。</p> <p>○認知症や精神疾患に対する近隣の理解、協力等。</p> <p>○バイタルリンクの普及啓発を勧める。</p>	<p>○医療機関が変わった際、調剤薬局間での情報共有できるシステムがない。</p> <p>○I T活用の推進</p> <p>○効率的な情報共有が図れるシステムづくり。</p>	本庁
			連携強化	<p>○V Rやオンライン等、今あるI Tの使い方をそれぞれの立場で工夫・協力して情報共有を図る。</p> <p>○入院した段階から密に情報共有を図り、本人の状態変化を把握。</p>		
			取組検討	<p>○日頃から体調変化時を想定し、本人や家族の意向を話し合う機会をつくる。</p>		

テーマ	(1)地域で起きている問題と課題		(2)推進会議で話し合われた地域での対応方針	(3)市レベルの課題		推進会議で話し合われた地区	
	個別ケア会議 自立支援型個別ケア会議	推進会議		個別ケア会議 自立支援型個別ケア会議	推進会議		
11.権利擁護	<p>●成年後見制度等の活用</p> <p>○権手続きが困難な高齢者を介護・医療の支援者はスムーズに成年後見制度につなぐ必要がある。(個5)</p> <p>○成年後見制度についての相談先や理解が市民にも介護医療従事者にも普及が十分ではない。(個6,53)</p> <p>○市長申立中でも施設や病院の支払いが滞らない仕組みがない。(個31)</p> <p>○施設入所などで居住実態がないのに、賃貸住戸を解約できる簡易的な手続き方法がない。(個32)</p> <p>●消費者被害防止の対応策</p> <p>○消費者被害にあわずに済むような対策の周知が出来ていない。(個55)</p>	<p>○成年後見制度についての理解が、市民にも介護・医療従事者に行き届いていないために、活用が不十分。</p> <p>○医療・介護関係者を含めた第三者が、成年後見人の実務実態を知る機会が少ない。</p> <p>○成年後見、権利擁護等各種普及啓発としてセミナー等を開催する上で集客力向上の為に効果的な具体策。</p> <p>○消費者被害が増えているが、羞恥心や認知機能低下、周囲が気が付かない等により、タイムリーな相談につながらず解決が難しい。</p> <p>○一度消費者被害にあつたとターゲットになり、繰り返し消費者被害にあってしまう。</p> <p>○消費者被害に対する正しい知識がない。</p>	実態把握		<p>○利用者の社会的手続き（役所関係・銀行関係・年金関係など）や現金の入出金・支払いの代行・同行など、ケアマネの本来業務ではない支援についての現状調査。</p> <p>○ケアマネや訪問ヘルパーによる利用者の金銭管理支援を実態把握。</p>	<p>明2西 常盤平団地 五香松飛台 新松戸</p>	
			普及啓発	<p>○OURの掲示板、イベントの活用。</p> <p>○商店、病院待合室等への掲示。</p> <p>○介護事業所から直接利用者にチラシ配布。</p> <p>○消費者被害に対する正しい知識の普及啓発。</p> <p>○消費者被害防止のための電話機や勧誘お断りステッカー等のグッズを活用。</p>	<p>○ケアマネジャー、医療機関など介護医療従事者に対する、成年後見制度の理解促進</p>		
			連携強化	<p>○医療介護の関係者が成年後見制度についての理解を高め、相談窓口と連携する。</p> <p>○消費者被害が起きたら地域包括に相談頂き、必要な支援機関に繋ぐ。</p> <p>○行政・事業所・警察等の連携。</p>	<p>○高齢者が契約できる物件の確保。</p>		<p>○認知症高齢者数の増加に見合った成年後見人人材の確保。</p> <p>○行政、警察、地域、本人・家族、事業者など必要機関との連携強化。</p>
			取組検討	<p>○支援者が訪問時に観察し、消費者被害にあっていないか観察する、アンテナを高く持つ。</p>	<p>○成年後見の市長申立中でも施設や病院の支払いが滞らない仕組み作り。</p> <p>○成年後見の市長申立中に家賃を払い続けるので本人の財産が目減りする。回避する仕組みを創出する必要がある。</p>		<p>○成年後見人が孤立しないような施策（メンタルヘルスケア含む）</p> <p>○消費者被害対応マニュアル・体制整備。</p>
12.地域包括ケアシステム			実態把握				